

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成29年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県芸術の森公園	所管課	教育委員会 学術文化財課
所在地	甲府市貢川1-4-27	設置年月日 (改築年月日等)	平成元年11月2日
指定管理者	SPS・桔梗屋グループ		
設置根拠 (法律、条例等)	都市計画法、都市公園法、山梨県都市公園条例		
設置目的	都市の健全な発展と秩序ある整備を図り、もって国土の均衡ある発展と公共の福祉の増進に寄与する。		
主な施設内容 (定員等)	○敷地面積 6ha ○施設の内容 ・野外研修施設 ・茶室 ・日本庭園 ・バラ園 ・広場 ・園路 ・緑地 ・彫刻等		
主な業務内容	(1)施設の利用の承認に関する業務 (2)施設及び設備器具の維持保全に関する業務		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	同規模の公園は県内各地にある。 ただし、当公園は美術館・文学館と一体となり、芸術の森公園を形成しており、このような性格を持つ公園としては唯一のものである。
---------------------	--

3 利用状況

単位：人、%

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度 (目標値)
利用者数	利用者数	512,028	476,804	463,801	
	利用者数合計	512,028	476,804	463,801	
	目標値	505,500	508,000	510,500	513,000
目標値設定の考え方及びその理由	美術館・文学館(茶室等公園施設利用者を含む)の入館者総数				
対27年度比		93.1%	90.6%		
利用率					

4 指定管理業務の収支状況

単位：円、%

		平成28年度	平成29年度 (計画値)	平成29年度 (実績値)	平成30年度 (計画値)
収入	施設利用料				
	指定管理者委託料	28,607,000	24,535,000	24,535,000	23,683,660
	その他	718,849	364,000	401,649	336,960
	収入合計(A)	29,325,849	24,899,000	24,936,649	24,020,620
支出	人件費				
	県への納付金				
	管理運営費	30,730,555	24,899,000	24,376,945	24,020,620
	うち外部委託費(B)	27,036,560	20,878,000	20,878,560	20,878,560
支出合計(C)	30,730,555	24,899,000	24,376,945	24,020,620	
収支差額(A-C)	△ 1,404,706		559,704		
外部委託比率(B÷C)	88.0%	83.9%	85.6%	86.9%	
利用者一人当たりの経費	60.0	48.1	52.9	46.2	

5 利用者満足度

実施方法等	山梨県芸術の森公園としてのアンケートは実施していない。
-------	-----------------------------

単位：%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
施設全般の満足度				

利用者の意見	
利用者の意見への対応	

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	業務仕様書に基づき年間計画を立案し実施した。法令遵守を前提に、専門業者に委託し、保守点検、警備、清掃等維持管理を効果的に行った。また、緊急度が高い案件は、県直営部門と調整を密に行い即時対応するなど、安心安全な管理を実施することができた。	業務仕様書、業務計画書に基づき、適正に実施されていた。
運営業務	業務計画書に基づき経験や知見豊かな職員を配置し、円滑な運営を行うとともに、入園者や近隣住民からの要望にも柔軟に対応した。また、突発的な事項には、館内で十分調整した上で進めるなど、館一体となり運営業務に取り組むことができた。	業務仕様書、業務計画書に基づき、適正に実施されていた。また入園者や近隣住民の要望にも柔軟に対応していることは評価できる。
利用状況	「ミュゼ・マルシェ」や「県民の日」の大型イベントに加え、春のゴールデンウィークイベントや夏まつりイベントなどを積極的に行うことで、ファミリー層等の利用を増加させることができた。	積極的なイベント開催により、新たな利用者獲得に向けての努力は評価できる。今後も引き続きイベント等を積極的に開催して、利用者増加に努めてもらいたい。
収支状況	収入については、自動販売機収入が前年度と比べて減少した。支出については、植栽管理費が減少したことにより、前年度と比べて減少した。	今後もより一層の効率化に努め、経費を削減してもらいたい。
自主事業		
利用者満足度		
運営目標の達成状況	利用者目標としていた510,500人に届かなかったが、県直営部門の協力も得て、ミュゼマルシェや県民の日イベントのほか、春のゴールデンウィークイベントや夏まつりなどの誘致事業を積極的に実施し、利用者の獲得に努めた。 また、利用者からの声をうけて、公園内の植栽の伐採や間引きなどを実施し、利用環境の改善に努めた。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	県直営部門と連携し、経費の削減を実施するなど、効率的な運用管理を行っている。また、利用者からの声を受けて公園内の植栽の伐採、間引き等を実施し公園整備に努めたことや、ファミリー層をターゲットとしたイベントを季節毎に開催するなど、利用者増加に向けた取り組みは評価できる。 今後は、直営部門と連携を深めつつ、新たな利用者の獲得をなお一層積極的に行い、利用者数目標の達成につながるよう努力してほしい。 指導事項としては、近年土・日など駐車場が満車となって利用できないケースが発生していることから、その対応策について検討するよう指示した。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	公園利用者にとって憩いの空間となるよう、景観の維持に配慮するとともに、近隣住民にも配慮した植栽管理を実施した。また新たな利用者の増加を目指して、ミュゼマルシェ等の大型事業、園内を巡るアートツアーなどを精力的に行った。 また、土・日など駐車場満車問題については、美術館・文学館・指定管理者主催の事業等の実施において、貸館等を利用した事業も踏まえつつ、日程調整を行うことや、近隣県有施設の駐車場を臨時に借り上げる等により、駐車場が満車にならないようにしている。また、利用が多く見込まれる日については、駐車場整理員を増員するなどして、利用者の安全確保に留意している。	

7 管理体制(組織図)

平成29年4月1日現在

